

ホソバイヌビワ

か めい
科名 クワ

べつ めい
別名

がく めい
学名 *Ficus erecta* var. *sieboldii*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分布 ほんしゅう かんとうせい しこく きゅうしゅう おきなわ
本州（関東以西）、四国、九州、沖縄、
さいしゅうとう
済州島

は かたち
葉の形 せんけい ひしんけい
線形、被針形

は ふち
葉の縁 なみがた
波形

は さき
葉の先 えいせんけい
鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉の種類 単葉

は つきかた ごせい
葉の付方 互生

は きぶ がた
葉の基部 ハート形

み しゅるい じょうか
実の種類 イチジク状果

は な がくいろ おばな しろいろ
花・萼色 雄花は白色

せつ
説
めい
明

かいがんちか りんち やま せいいく らくよう ていぼく は ほそなが ひしんけい はさき
海岸近くの林地から山すそにかけて生育する落葉の低木です。葉は細長い被針形で葉先は
えいせんけい は きぶ がた は ふち なみがた は なが おな
鋭尖形、葉の基部はハート形、葉の縁は波形です。葉の長さはイヌビワと同じぐらいですが、
はば は ひかく ほそ しゅういかぶ
幅が 1.5-3 mmでイヌビワの葉と比較すると細くなっています。雌雄異株。